

# 平松 哲哉

ひらまつ てつや

## 平松 哲哉 Hiramatsu Tetsuya

言語聴覚専攻科 専攻科長 准教授  
大学院保健学研究科 保健学専攻 准教授

### 学歴・学位

東京国際大学 商学部商学科 卒業 学士（商学）  
名古屋文化学園医療福祉専門学校 言語療法科 卒業（言語聴覚士免許取得）  
九州保健福祉大学大学院 保健科学研究科 修了 修士（保健学）  
鳥取大学大学院 医学系研究科博士後期課程保健学専攻 修了 博士（保健学）

### 資格

言語聴覚士、認定言語聴覚士（摂食・嚥下障害領域）、認定言語聴覚士（失語・高次脳機能障害領域）  
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、日本言語聴覚士協会基礎講座講師  
LSVT® LOUD Certified clinician

### 主要職歴

平成 12 年 4 月～平成 19 年 3 月	鳥取県済生会境港総合病院 リハビリテーション科 言語療法室
平成 19 年 4 月～平成 28 年 3 月	松江総合医療専門学校 言語聴覚士科 専任教員
平成 22 年 4 月～現在に至る	鳥取大学大学院医学系研究科保健学博士前期課程 非常勤講師
平成 28 年 4 月～平成 30 年 3 月	鳥取市医療看護専門学校 言語聴覚士学科 副学科長
平成 30 年 4 月～令和 3 年 3 月	鳥取市医療看護専門学校 言語聴覚士学科 学科長
令和 3 年 4 月～令和 5 年 3 月	広島都市学園大学 言語聴覚専攻科 講師
令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月	広島都市学園大学 言語聴覚専攻科・大学院 准教授
令和 6 年 4 月～現在に至る	広島都市学園大学 言語聴覚専攻科長、大学院 准教授

### 専門分野

摂食嚥下障害、リハビリテーション、摂食関連の疲労、嚥下反射惹起性、運動障害性構音障害

### 主な担当科目

呼吸・発声系医学、言語聴覚障害概論、構音・音声障害Ⅰ・Ⅱ、構音・音声障害演習Ⅰ、摂食・嚥下障害Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、言語聴覚障害診断学Ⅱ、摂食嚥下障害演習Ⅲ 等

## 研究テーマ

---

- 成人の摂食嚥下機能障害に関する研究
- 加齢に伴う嚥下反射惹起性に関する研究
- 要介護高齢者の摂食に伴う疲労に関する研究

## ひとこと

---

人は食べることで栄養を摂るだけでなく、満足感や幸福感を得たり、家族や他者とのコミュニケーションの場にもなったりしています。食べること飲みこむことが困難になった人を支援する専門職として、言語聴覚士は活動しています。患者さんの「これだけは食べたい」という思いに応えるべく、学び続けていきたいと考えています。

## その他（所属学会・団体）

---

日本言語聴覚学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本ディサースリア研究会、米子医学会

## 研究活動（主要なもの）

---

### 学術論文

- 1) 商業施設で開催した健康イベント「健幸大学」の有効性の検討—A市在住女性高齢者のフレイルおよび身体的機能の評価—〔林健司,松本祐香,谷村千華,平松哲哉,他〕 インターナショナル Nursing Care Research20 (2) ,pp.31-40,2021
- 2) 在宅高齢者のフレイル（虚弱）と口腔機能・栄養状態の関連性〔平松哲哉,平松喜美子,佐藤公子,渡邊克俊〕 日本医学看護教育学会誌 28 (3) pp.10-18,2020
- 3) Influence of backrest angle on swallowing musculature activity and physical strain during the head lift exercise in elderly women compared with young women 〔Koshi N, Matsumoto H, Hiramatsu T, Shimizu Y, Hagino H〕. Journal of Oral Rehabilitation 45(7) pp.532-538,2018年
- 4) Effect of aging on oral and swallowing function after meal consumption. 〔Hiramatsu T, Kataoka H, Osaki M, Hagino H〕Clinical Interventions in Aging.Vol.10 pp.229-235,2015年
- 5) 頭頸部姿勢変化に伴う嚥下時筋活動への影響〔平松哲哉、苅安誠〕 米子医学雑誌 65 (3) pp.76-83,2014年
- 6) 外来失語症患者の在宅活動状況〔平松哲哉、猪崎文香、河内博美、近藤慎二、栗木悦子〕 言語聴覚研究 5 (3) pp.186-191,2008年

---

### その他（学会発表等・主なもののみ記載）

- 1) 言語聴覚士養成課程における臨床実習前の教育内容見直し—臨床実習指導者への質問紙調査から〔野津裕子、原順子、平松哲哉 他〕第 19 回日本言語聴覚学会 2018 年
- 2) 健常成人における食事前後の嚥下反射惹起性・口腔器官への影響〔平松哲哉、萩野浩〕 第 17・18 回共催日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 2012 年
- 3) 重度ディサースリアにおける軟口蓋挙上装置とフレージング法の効果の検討〔佐藤菜実子、大下勇弥、平松哲哉

他)第 12 回日本語聴覚学会 2011 年

- 4) 脳梗塞再発により純粋発語失行症を呈した一例〔谷歩実、坂出暁、平松哲哉〕第 35 回日本高次脳機能障害学会 2011 年
- 5) 胃瘻患者への半固形の注入方法－輸液バック加圧器を用いて－〔山崎みゆき、丸山茂樹、平松哲哉、他〕第 23 回日本静脈経腸栄養学会 2008 年
- 6) NST の介入が効果的なりハビリテーションを可能とした症例〔來海文香、平松哲哉、河内博美 他〕第 21 回日本静脈経腸栄養学会 2006 年
- 7) 外来失語症者の在宅活動状況について〔平松哲哉、來海文香、河内博美 他〕第 7 回日本語聴覚学会 2006 年
- 8) 口腔乾燥症の改善を目的とした保湿軟膏の設計と評価〔森田俊博、平松哲哉、來海文香、他〕第 44 回日本薬学会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会 2005 年
- 9) 第 2 回新人研修を行って－グループディスカッション形式の採用 山陰 ST 協会の取り組み第 2 報〔平松哲哉、清水洋子、竹内茂伸 他〕第 6 回日本語聴覚学会 2005 年
- 10) 胃瘻造設後在宅退院となり経口摂取可能となった 1 症例の検討〔平松哲哉、來海文香、近藤慎二 他〕第 2 回日本神経疾患医療福祉従事者学会 2005 年
- 11) 第 1 回新人研修会を行って 山陰 ST 協会の取り組み〔平松哲哉、清水洋子、竹内茂伸 他〕第 5 回日本語聴覚学会 2004 年

---

更新：2024.4